

令和5年度（2023年度） 北海道伊達高等養護学校 学校経営シラバス

令和5年（2023年）4月3日

校訓	希望 自立 前進	学校教育目標	自ら学ぶ力を高め 豊かな心とたくましい体を育み 目標に向かって働く力を身に付け 新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる
めざす 学校像	【子どもから学び、保護者と学び、地域と共に歩む学校】 ・心がワクワクする学校（やりがい 生きがい 学びがい） ・地域と連携・深化する学校（地学協働の推進） ・世界一幸せにあふれる学校（SDG s の視点）		
めざす 職員像	【和＝笑＋話＋輪】 ・【和】（協 働）一人ひとりの強みと弱みを尊重する職員 ・【笑】（笑 顔）仕事は楽しくする職員 ・【話】（対 話）対話を大切にする職員 ・【輪】（チーム）チームで業務を推進する職員		
めざす 生徒像	【卒業後一人でも多く納税者にする】（卒業後3年間：定着率 100%を目指す） ・礼儀正しく、責任を持って、根気強く働き続けることができる生徒（語先後礼の定着） ・健康で安全に生活することができる生徒 ・地域や職場の人々との関係を良好にするコミュニケーションをとることができる生徒 ・多様な見方や考え方を尊重できる生徒 ・情報社会に適切に参画することができる生徒		

- 経営方針 教職員の共通理解を図り、組織としての協働体制を確立する
- 1 連 携 学校の力を地域、関係機関と連携させ、教育活動を充実させる
 - 2 働き方改革 健康で生き生きとやりがいをもって働ける職場を作る
 - 3 危機管理 災害へ備え、生徒の問題行動を未然防止し、適切な初期対応に努める

- 重点目標 一人一人の可能性を引き出す教育活動の推進
- 1 学習指導 共有した生徒の実態に基づく「指導と評価の一体化」の推進
 - 2 生徒指導 教務・舎務一体の課題予防的生徒指導の推進と発達支持的生徒指導の研究
 - 3 進路指導 「進路の手引き」を活用した教務・舎務一体のキャリア教育の充実

■教育活動

領 域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点
学習指導	分かり 高める授業による協働力の育成	・授業改善 ・分かり 高める授業 ・体力づくり及び作業学習の充実	・授業と評価の一体化が進んだか ・生徒アンケートを導入し、授業の質の向上をめざす取組ができたか ・指導方法・内容を根本から見直し、実践を行えたか
生徒指導	人間関係や社会規律を理解する力の育成	・面談力の向上 ・情報の共有 ・生徒指導提要への対応と実践	・教育相談力向上の研修を実施できたか ・学舎で生徒の情報を共有し、目標設定・評価等に活用できたか ・生徒指導提要の内容に対応しつつ、保護者・寄宿舍・関係機関等と連携できたか
キャリア教育	社会に貢献しようとする意欲の育成	・指導方法の充実 ・ガイダンス充実 ・職場開拓	・「進路の手引き」を活用し改訂できたか ・生徒向け「進路ノート（仮）」の作成・活用ができたか ・伊達市内をはじめ新たな職場を開拓できたか

■学校経営

領 域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点
信頼される学校づくり	学校評価に基づいた教育活動の充実	・積極的情報発信 ・地域連携活動 ・センター機能充実	・HP や各種通信等による効果的情報発信ができたか ・自治会との花壇造成や避難訓練の実施ができたか ・外部の特別支援 Co の育成及び強化ができたか
組織運営	課題の共有、協働と経営参画意識の醸成	・伊達ブランドの深化 ・学校評価の活用 ・めざす職員像の具現	・藍の活用や SDGs の視点を取入れた全校的な取組ができたか ・前年度の学校評価に基づいた改善ができたか ・互いに協働に向けて意識をして業務に取組めたか
教職員の資質向上	教育公務員としての自覚と責任の涵養	・授業力の向上 ・規律の遵守 ・働き方改革推進	・教えるプロとしての技術向上機会の紹介ができたか ・服務規律の遵守に向けた取組がなされたか ・教育課程の検討も含め、業務の効率化やスリム化が行われたか